



会報



THE ROTARY CLUB OF TSURUOKA
鶴岡ロータリークラブ

第719回例会 1973. 9. 4 (火) 晴 No.10

例会日 火曜日 12時30分
例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所
会長 安藤定助 幹事 小松広穂

a Time for Action

「今こそ行動のとき」

羽黒山の山伏

会報はご家族みんなで読みましょう

○出席報告

本日の出席

会 員 数	68名
出 席 数	54名
出 席 率	79.41%

前回の出席

前回出席率	76.47%
修正出席数	63名
確定出席率	92.65%

欠 席 者

阿部(襄)君、早坂(徳)君、石黒君、藪田君
五十嵐(一)君、吉野君、三浦君、斎藤(得)
君、斎藤(信)君、佐藤(忠)君、鈴木(善)君
佐々木君、富樫君、高橋(辰)君

マークアップ

藪田君一米沢RC
風間君、山本(隆)君、海東君、金井君、
小池君、三井(健)君、中江君、高橋(正)
君、中野(清)君、進藤君一鶴岡西RC

○ビジター

佐藤五右工門、本間新之丞君、
菅原鉄三郎君一温海RC
羽根田正吉君、細井功君、半田茂弥君、
石原武君一鶴岡西RC

○点 鐘

安藤会長

○国家斉唱

○ロータリーソング「奉仕の理想」

○お誕生月 おめでとうございます

会員お誕生

小池繁治君、池内方平君、高橋正太郎君
上野三郎君、菅 健君、山本隆男君

奥様お誕生

今野幸子様、三井順子様(賢二)、
三井糸様(徹)

○年間皆出席者

8年間皆出席 三井賢二君

○8月25%出席者

1名
石黒慶之助君

ところ 松島町民体育館
登録料 5,000円

○8月200%出席者

1名
高橋正太郎君

(㊦) 姫路東RC 7月24日加盟承認

○8月100%出席者

51名

阿宗君、阿部(公)君、阿部(襄)君、風間君、安藤君、張君、長谷川君、早坂(源)君、佐藤(順)君、山本(隆)君、板垣君、市川君、飯白君、五十嵐(三)君、五十嵐(伊)君、高橋(良)君、今野君、海東君、金井君、佐藤(衛)君、上林君、黒谷君、小花君、小池君、中野(重)君、吉野君、嶺岸君、三井(徹)君、三井(賢)君、三井(健)君、岩網君、菅君、小野寺君、中江君、齋藤(得)君、佐藤(昇)君、新穂君、鈴木(弥)君、佐藤(友)君、谷口君、小松君、手塚君、中野(清)君、富樫君、鷺田君、藪田君、進藤君、高橋(辰)君、森田君、佐藤(忠)君、鈴木(善)君

3. 例会変更

(イ) 天童RC 9月15日老人の日につき例会休会

(㊦) 酒田東RC 9月6日職場訪問ボーリング大会開催の為職場訪問

午後5時 (株)ニシムラ

午後6時 大成ボール

○スピーチ 鶴岡職業安定所 池田所長

「鶴岡職業安定所管内における最近の労働事情」について

先程ご紹介を頂きました地元安定所長をやっております池田でございます。職業紹介業務につきまちは平素皆様方から何かと大変お世話になっておりますことを感謝申し上げますと共に今後共よろしくお願いを申し上げます。

ご承知の様に昨年来停滞気味だった当地の産業経済は本年に入りましてから景気の上昇と中央工業団地への進出企業が本格的にきまる等、今後大きな活気が期待され、発展に向っておりますことは誠に喜びに堪えない次第であります。

こうした産業経済の発展と共に管内の雇用情勢も大きく変わろうとしておりますが、産業の発展に見合う労働力の確保が今後益々重要な課題となって来るわけでございます。産業の必要とする労働力、中でも若いエネルギーとしての新規卒卒者に対する期待はきわめて多く、如何にしてこの若年労働力を企業の発展に結びつけるかが今後の重要な必要条件の一つであると思われま

す。そこで本日は管内の新規学校卒業者の職

○会長報告

安藤 会長

今日は年度始まりまして初めて、外来のゲストスピーカー鶴岡職業安定所の池田所長さんを迎えております。後程「鶴岡職業安定所管内における最近の労働事情」についてスピーチをお願いすることになっております。その後各委員会のご報告が沢山ありますので、お食事から行事をはじめました。誠に申訳ありませんがお許し願います。

○幹事報告

小松 幹事

1. 会報到着

天童RC、東根RC、会津坂下RC

2. 認証状伝達式

(イ) 松島RC 6月30日加盟承認

とき 11月18日 10.00より

業紹介状況を中心に若干申し上げて見たいと思います。若干数字が入って恐れ入りますが、先ず始めに今年の春の卒業者の状況から申し上げますと、中学校では管内23校ですが卒業者が3,211名、その中進学した者は全体の86%で2,761名、就職者は258名で全体の8%となっております。その就職者の258名の内、地元就職が52%に当たる134名、残りが県外に241名就職しております。高等学校は全部で11校ですが卒業者が2,743名、進学者は省略し、就職した方が1,621名、全体の59%、その内で地元就職が35%の573名、残り1,048名が県外就職となっております。4月の始めに調査した県の見込みでは、中学校もそうでありますが、高等学校におきましても県内に就職希望者が全体の半数にのぼっておりながらも結果的には県外就職が増加したのであります。その理由は賃金等労働条件が県外の方が良い、或は地元希望した職場がないということに依るものと思われます。

次に来年3月の卒業者の勤労情況を申し上げますと、これは去る5月末の調査ですが中学校では卒業予定者が3,219名、前年度より8名増となっております。その内進学が94%と高く、3,020名、就職者が136名と現状では4%と非常に少なくなっております。その他未定が63名、従って就職者と未定者を仮に全部就職しても全体の6%位、その内県内希望者が全体の70%で94名、残りが県外となっております。

又高等学校では卒業者が2,830名、前年より87名減になっております。進学が739名就職1,530名で全体の54%、その外561名は未決定です。この1,530名の就職希望者の内で地元就職希望者が全体の46%700名、残り830名が県外になっております。しかし従来の今迄の情況から見まして中学、高校共に最終的就職者はこれより多くなると

考えられますので、高校は去年の数位いは就職されると思います。

この就職希望者に対する求人状況を8月末現在で見ますと、中学校では地元から391名、県外から1,388名合計1,779名来ております。しかしこの数字は従来と余り違っておりません。若干の増加位いですが中卒の就職が難しいということだと思えます。高等学校では地元で1,333名ですがこれでも前年度から見ますと前年の最終合計より既に400名多くなっております。これも今度新しい泉自動車、東京部品の145名は入っておりません。県外については今整理中ですが件数で5,388件、去年は4,373件で18,500名ですから今年は更にこれ以上であることははっきりしています。何れにしても新規学卒求人は主体が高等学校にすっきり移っており、求人倍率も10数倍位いはなると考えられます。

さて一番問題となっております新規学卒者求人の初任給はどうでしょうか。今年の3月卒業就職者の情況を申し上げます。これは労働省の労働市況センターから送られた賃金の情報であります。全国平均で中学校が男子37,600円、女子36,200円、高校男子45,300円、女子42,500円という全国平均と申しますと賃金を16等分に分けましてその中位数をとっております。これに対して、山形県は中学男子30,500円、女子33,000円これは本県に弱電初め女子向きの企業が非常に多いということが云えると思えます。又高校男子36,900円、女子36,500円となっております。この賃金には超過勤務手当、或は臨時的賃金は入っておりません。又今年の春闘に依る賃上げは含まないといっております。この計算の出し方は一寸難しい説明ですが3月から5月迄に入社した方々をデータに依り算定したもので農林水産等は入っておりませんが、それ以外の中、

大産業等について調査したものです。

では現在申込まれている県外求人の賃金はどうでしょうか。規模の格差に依り、又業種に依り非常に差が出来ておりますので難しいのですが一番多いところを見ますと中学校で38,000円～43,000円位です。県外の大手の繊維関係は殆ど最高の方です。高等学校は45,000円～51,000円位です。しかし男子は殆ど50,000円 近い 47,000円から48,000円位が多いようです。

一方地元の受理している賃金を見ると中には県外と殆んど同じ高い賃金の処も若干はありますが、大多数はかなりの差が出ております。これからこの格差が益々大きくなるのではないかと考えられます。尚、学卒の就職に関連しまして去る6月下旬鶴岡市に於て地元就職者の激励慰安大会を開催しました際、その時のアンケートに依りますと、その中に職場に対する希望や相談したいことがありますかという項目の中に「ある」と書いた人がかなり居りました。その項目について労働時間、休日について一番、次が仕事のこと、対人関係、賃金のことを挙げております。休みについては管内に於ても隔週5日制、或は月1回5日制等が増加しており、前年よりも休みが多くなっております。

祝祭日の全休、土曜の半休という希望が多く特に高校卒の方から多く出ている様です。新規学卒者は初めての職場生活ですから色々戸惑いや、なやみ等に突当る点があるうと思われます。

労務管理の改善については従来から色々配慮がなされておりますが、従業員の仕事意識を的確に把握されまして、事業の経営者と従業員との意識疎通が円滑に行われまして従業員が職場生活に満足感、充実感を持つことが出来る様に雇用管理を進めて行くことが大事なことは申し上げるまでも

ありません。こうした魅力の持てる職場造りが即ち求人対策であり、同時に従業員の定着対策に繋るものと存じます。

次に最近に於ける中央工業団地の関係の進出企業の労働状況について簡単に申し上げます。ご承知の様に中央工業団地に入る進出企業で新しい処は殆んど出揃った様です。その中で現在労働を補充している処は男子では泉工業、これは第一次が求人90名に対して99名就職し、既に埼玉県の本社工場で実習し、12月の創業と同時に鶴岡に戻って来るのです。第二次として現在30人の求人を頂いており、既に3分の1は就職しております。次に東京部品工業は第一次が70名の求人に対し61名が就職し、神奈川県の本社工場で実習しております。来年8月予定の創業と同時に地元に戻って来ることになっております。第二次が80名の求を出しておりますがまだ7名位しかまきまっております。

この二つは男子を主とした企業であり、賃金は18才で基本給49,000円、一方では49,900円、年令に依りまして29才で70,000円位の基本給を出しております。その他に色々の手当が入るわけであります。

女子では東北みずぐ電子工業、これはみずぐ電子と同じ系列であります。新規200名の内100名は既に現在のみずぐ電子の方に入って就職しており、新しく出来た時にそちらに移ることになっております。残り100名は現在募集しておりますが、年令の幅を拓げればかなりの応募者もおりますが、中・高年の方々は職場に限度がありますので最近では16才～35才位迄の年令に制限している様です。

これらの工業団地からは、その他に求人が多くなるわけですが、労働条件の高い水準の企業が新しく立地した場合は労働力の企業間の移動が大きくなることは他の地域

でも見られることでありまして、今後企業の増加により、こうした傾向が益々大きくなると考えられます。

従いまして既存企業におかれましても新しい雇用情勢に対応致しまして更に一層の労働条件の向上についてご配慮をお願い申し上げます。

○ロータリー財団委員会 谷口晴敏君

初めにロータリー財団委員会ではこの前の例会でお願い致しました様に、ここに小さい箱をおきましたので、お帰りの際はよろしくお願い申し上げます。

次に私事で甚だ恐縮でございますが簡単にご挨拶を申し上げます。実は私昭和44年5月に由良電子という会社にピンチヒッターとして入社しましたが、会社も一応軌道に乗った様でございますので先月末に退社致しました。

そして今度は国道7号線の停留所の直ぐ前に8月31日水沢産業を発足させて頂きました。この会社は自動車とか、電気メーターの差動部分を製造するので、国内約80%のシェアを持つ藤田電気の会社の最末端のささやかな会社であります。普通の実業家の方々ですと新しい企業をやる場合は当然鶴岡の市内でやる筈でしょうが、片田舎に造りました所以は、実はご案内の通り庄内平野の一番西の端で農業経営規模が非常に小さい所です。それがだんだん基盤整備等で大型化され、近代化されますと従来小規模なるが故に婦人労働力が農業の中心になっておりましたが、その婦人労働力を転用せざるを得ない様な状況に進んでおります。勿論大部分の人は鶴岡に就職しますが矢張り農村の人は家庭の環境、或はその他の実情で地元に残らなければならない立場の人もありある様に思われますので地元の人達と共に農工一体の職場を造ろうということで他の役員は全部地元でございます。

私は今後飽く迄も臨時として、ピンチヒッター的な立場であります、勿論出来る

だけ早く地元の人達が外部に頼らずに一本立出来るという形にもって行きたいと念願しております。そんなささやかな会社であります皆さんからよろしくご指導、ご支援をお願い申し上げます。

○雑誌委員会 津田晋介君 ロータリーの友について

雑誌委員では委員会報告はないんですがこの雑誌について私の感想を述べたいと思います。私このロータリーの友を読み始めてから10何年もなりますけれども編集の方針は全然変わっておりません。一貫して同じ方針です。矢張り雑誌である以上面白いという面がなければならないと思います。ロータリーの友はそういう点から考えて面白いというふうに言えるかどうか。どういう性格の雑誌かと言えば、同行の志が読む雑誌という性格でしょうけれどもロータリークラブ以外の人が見た場合、読んでみたいという意慾をそそられるであろうかと考えて見る必要があると思います。どうしてもこれは一般人から見て読みたいなあという意慾を起させる魅力に乏しいと感じます。

矢張り雑誌の編集は月並みなものでなく何か読む人の目をひく、興味をそそるといことがなければ雑誌としての生命はないと思います。どの雑誌でも特殊記事というものがある、それに皆がひかれて買うという様なものが多いと思います。ロータリーの友にはそういう特徴というような配慮が欠けていると思います。

まだ任期は1年間近くありますので、ロータリーの友をどういう雑誌にした方がよいかという事が雑誌委員に課せられた使命であるならば、ここ1年近くの間充分検討してそれなりの案を纏めて見たいと思います。

○地区年次大会事務局開設について

年次大会副幹事 高橋正太郎君
昨日から地区年次大会の終る10日頃迄に

商工会議所2階の1室をお借りし大会事務局を開設し、私は鶴岡に居る時は常任しています。私に用のある時は自宅でなく、事務局迄ご連絡願います。

尚、事務担当は日向早苗さんです。よろしくお願い致します。

次に現在迄に入りました登録メンバーを申し上げますと僅か492名の参加人員であります。後15クラブ(鶴岡クラブを含めて)本日迄登録がありません。ゴルフは現在69名、車の駐車台数109台、奥様は52名というところでございます。奥様の方が多いというわけではありませんが492名では誠に困った数字でございます。皆さんもお知り合いの会員がありましたら沢山勧誘して頂きたいと思っております。

○親睦活動委員会

中江 亮君

先回の例会でご承知のことと思っておりますが安藤会長が第二次大戦中の勲功に依りまして勲五等瑞宝章を受章されましたので当クラブの慶弔内現に依り、お祝いとして金一封を贈呈します。

次に新穂光一郎君は温海グランドホテルの設計を担当され、佐藤衛君が工事を担当され無事見事に竣工されました。おめでとうございます。

次に有名なゴルフ用品メーカーの美津野ゴルフが東北大会を開催されました時に、当会員の高橋正太郎君が見事優勝されました。おめでとうございます。尚高橋君はこの次の大阪に於ける全国大会にも出場することになっております。是非優勝していただきたいと思っております。

次は只今お手許にありますロータリーの友(9月号)の第6頁をご覧になって下さい。

年次地区大会の委員長をつとめられます金井勝助君のお写真がのっております。大会にご参加されます様との呼びかけの記事ですがお写真から拝見しますと貫録充分で又男振りも抜群であります。只今そういうことを兼ねてスマイルを頂戴致しました。

尚一言つけ加えて申し上げますが先般ガバナーの公式訪問の折に、当クラブはクラブの大きい割にスマイルの活動が非常に鈍く成果が上っていないのではないかというお叱りを受けました。どうぞ皆様嬉しいこと、おめでたいこと等沢山あるかと思われまますので、よろしく自主申告をされ沢山スマイルを頂戴したいと思います。

○スマイルボックス

安藤 定 助 君
新穂 光一郎 君
佐藤 衛 君
高橋 正太郎 君
金井 勝 助 君

○ロータリー情報委員会

大川喜一君 張紹淵君 山本隆男君

1. 手続に関する問題
 - (31) クラブの次期役員は次の所で研修を受ける。
 - (a) 地区協議会
2. 手続に関する問題
 - (32) ロータリーの公式機関雑誌の名称は
 - (a) 「ザ・ロータリアン」。
3. その他の事項に関する問題
 - (33) 職業奉仕事例研究とは何ですか?
 - (a) 実業または専門職業上で実際に経験した問題。

ロータリークラブ加盟国150

ノーフォーク島ロータリーに加盟
ロータリーの国際家族に最近加わった一員は、豪州シドニー港の東北方、太平洋上に浮かぶ面積13.5平方マイルのノーフォーク島である。これによって、ロータリークラブのある国および地理的地域の数は150に達することになる。豪州の領地であるノーフォーク島は、1,600の人口を有している。ノーフォーク島ロータリークラブは292地区の一部で会員数24名である。もしあなたが一筆歓迎の言葉を贈ろうとされるなら、下記クラブ会長宛に出されることをお勧めする。

Edmund T. Lenthall, P.O. Box 316,
Norfolk Island 2899, Norfolk Island